

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

事務事業名						下妻公民館維持管理事業						教育部	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館				公民館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを						千代川公民館	

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する				
内容	施設の維持管理、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者団体	公民館の利用団体数	目標	1,000	1,000	1,000	団体	
		実績	1,062	1,552				
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者数	公民館の利用者数	目標	14,500	14,500	14,500	人	
		実績	12,427	16,962				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	25,521	23,359	27,384	27,574	27,574			
事業経費	17,813	18,015	22,040	22,230	22,230			
特定財源	1,463	2,018	1,750	1,750	1,750			
従事常勤職員数	0.53	0.34	0.34	0.34	0.34			
従事非常勤職員数	1.60	1.20	1.20	1.20	1.20			
概算人件費	7,708	5,344	5,344	5,344	5,344			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	存続させるか検討中です。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適正である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	公民館の構造・利用者を熟知している市職員が行うべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	存続させるか検討中です。	
	事業の方針	継続	存続させるか検討中です。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	下妻公民館は、市民文化会館と空調設備等の設備が共用しているのもが多く、老朽化による不具合の対応が課題となっている。
今後の取組み	老朽化により適切な修繕工事が必要である。また、令和2年度から社会福祉協議会及びシルバー人材センターがそれぞれ事務室等で1階を使用しているため、館内の適切な維持管理と整備を実施するよう努める。

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

教育部
公民館
千代川公民館

事務事業名	大宝公民館維持管理事業					
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを	

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。				
内容	施設の維持管理、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
				目標	実績	目標		実績
	利用者団体	公民館の利用団体数	目標	800	1,000	1,000	団体	
			実績	938	1,196			
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
				目標	実績	目標		実績
	利用者数	公民館の利用者数	目標	13,600	14,000	14,000	人	
			実績	10,472	15,499			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	9,651	17,229	18,520	18,520	18,520			
事業経費	6,410	13,725	15,016	15,016	15,016			
特定財源	104	146	120	120	120			
従事常勤職員数	0.26	0.34	0.34	0.34	0.34			
従事非常勤職員数	0.55	0.40	0.40	0.40	0.40			
概算人件費	3,241	3,504	3,504	3,504	3,504			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	体育室は、部活動でも利用している。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	最小限の予算で運営している。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標に近づいた。
	手段の妥当性	見直しの余地あり		管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	公民館利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時改善し、良好な環境を維持しなければならない。
今後の取組み	建設してから35年以上が経過し、建物や設備など老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要である。

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

教育部
公民館
千代川公民館

事務事業名	千代川公民館維持管理事業					
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに	11	住み続けられるまちづくりを		

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する				
内容	施設の維持管理、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者団体	公民館の利用団体数	目標	1,000	1,000	1,000	団体	
		実績	750	1,344				
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者数	公民館の利用者数	目標	27,000	27,000	27,000	人	
		実績	14,639	29,714				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	16,037	20,338	32,162	32,182	32,182			
事業経費	9,318	12,179	24,003	24,000	24,000			
特定財源	469	798	755	755	755			
従事常勤職員数	0.53	0.78	0.78	0.78	0.78			
従事非常勤職員数	1.17	0.97	0.97	0.98	0.98			
概算人件費	6,719	8,159	8,159	8,182	8,182			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	市外から団体利用も多い。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	竣工後35年以上が経過し、空調(冷房)使用時のトラブルにより利用者に不便きたしているため、今後の対応を関係部署との協議、連携を図る。
今後の取組み	空調は、早急に改修工事の調査設計委託し、関係部署との協議、連携を図りながら改修工事の準備を進める。

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

事務事業名						市民センター管理事業			教育部
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館	
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館	

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適正な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。				
内容	施設の維持管理運営、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者団体	市民センターの利用団体数	目標	600	750	1,250	団体	
		実績	737	1,227				
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	利用者数	市民センターの利用者数	目標	6,500	10,000	18,000	人	
		実績	10,253	17,296				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	10 市民センター管理費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	11,987	17,622	12,717	12,717	12,717			
事業経費	8,779	14,118	9,213	9,213	9,213			
特定財源	23	37	20	20	20			
従事常勤職員数	0.18	0.34	0.34	0.34	0.34			
従事非常勤職員数	0.80	0.40	0.40	0.40	0.40			
概算人件費	3,208	3,504	3,504	3,504	3,504			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適切である。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	想定通りのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標に近づけた。	
	手段の妥当性	妥当	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。	
	事業の方針	継続	現状維持で行うべきである。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市民センター利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時修繕し、良好な環境を維持しなければならない。
今後の取組み	各市民センターとも、全体的に老朽化が進んでいるため、計画的な修繕工事が必要である。

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

教育部
公民館
千代川公民館

事務事業名	公民館教室事業					
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを	

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民のニーズに対応した多彩な講座を開催することで、市民同士が交流を深めるよう活動を支援する。				
内容	心豊かに生きるためのきっかけづくりとして市民が幅広く参加できるよう各種講座を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	教室開設数	公民館及び地区館で開設した教室数	目標	32	37	37	教室	
		実績	30	35				
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	教室受講者数	公民館及び地区館の教室受講者数	目標	600	500	600	人	
		実績	449	519				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	8,219	11,870	12,380	12,380	12,380			
事業経費	1,908	2,696	3,206	3,206	3,206			
特定財源	225	260	300	300	300			
従事常勤職員数	0.21	0.39	0.39	0.39	0.39			
従事非常勤職員数	2.05	2.70	2.70	2.70	2.70			
概算人件費	6,311	9,174	9,174	9,174	9,174			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	生涯学習の場を提供する講座として、必要性は高い。
		対象の適切性	適切	対象は受講者になるため適切である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	市が推進すべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	申込者少数で開催を中止した教室があったが、全体の受講者数は目標を達成できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	低コストで教室を実施している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で目標を達成している。	
	手段の妥当性	妥当	市職員が行うのが妥当である。	
	事業の方針	継続	現状維持。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	教室によっては、前年度からの継続者が多く、新規受講者が増えにくい傾向にある。今後はウィズコロナ・アフターコロナの観点を持ちながら、地域のニーズに合わせた教室を開催する。
今後の取組み	教室内容の一層の充実を図るとともに、受講生募集の方法を工夫し、新規受講者の増加を目指す。

令和5年度 事務事業評価シート(令和4年度実績)

事務事業名							公民館まつり事業			教育部
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館		

1. 事業の概要(Plan)

目的	公民館や地区館の教室及びクラブの受講生が、活動学習の成果発表を通じて、受講生や地域住民の交流を深める。				
内容	各種教室の発表の場として、ステージ発表・作品展示・体験教室を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	広報活動	ポスター・お知らせ版・防災無線等により広報した回数	目標	1	1	2	回	
		実績	0	1				
成果指標	指標名	説明	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	参加人数	発表・展示等の参加人数	目標	300	300	300	人	
		実績	0	421				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費
事業費(千円)	R3決算額	R4決算額	R5予算額	R6予定額	R7予定額			
総事業費	532	4,090	4,183	4,188	4,188			
事業経費	0	112	205	210	210			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.07	0.13	0.13	0.13	0.13			
従事非常勤職員数	0.00	1.30	1.30	1.30	1.30			
概算人件費	532	3,978	3,978	3,978	3,978			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	市民のニーズに適した事業である。
		対象の適切性	適切	対象者の拡大を検討すべきである。
		主体の妥当性	市が推進すべき	教室受講生等との信頼関係が必要なため、市が主体になるべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	コロナ禍以前と比較し、規模を縮小しての開催であったが、実施することができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最低の経費で行っているため、削減の余地はない。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	開催方法や規模について、検討の余地あり。	
	事業の方針	継続	規模の拡大を検討する余地あり。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	コロナ禍以降、初めての開催であったことなどがあり、コロナ禍以前の実施内容から一部、内容を変更して開催した。コロナ禍以前と同様の内容での開催を希望する声もあったため、実施内容やスケジュールについて、改めて検討が必要であると考え。
今後の取組み	発表を行う団体や来場者が交流を深め、より良い学習の場となる環境を醸成するため、開催内容や職員による運営の方法等について検討が必要と思われる。